

石森一家式ゴレンジャーハリケーン

作 ふーや

登場人物

〈石森一家〉

彰子 しょうこ 9歳 長女 スーパー戦隊大好き

彰 あきら 18歳 長男 受験生 特撮オタク

栄二 えいじ 49歳父 特撮オタク

東子 とうこ 42歳 母 特撮に興味なし

栄太郎 えいたろう 80歳 最近ボケてきた

アキコ あきこ 彰子が生まれる前に亡くなった 彰子に似ている(役者一緒)

〈黒十字軍〉

コロヌス3世

ゾルダー

(☆は同時に)

あらすじ

年は2019年、石森夫婦は栄太郎の徘徊に悩まされていた。東子は栄太郎を介護施設に入れることを提案するが、栄太郎の息子である栄二に拒否される。一方

彰子は祖父である栄太郎や父の栄二、兄の彰の影響で女の子なのに特撮が大好きだ。そのことを馬鹿にされつつも自分の好きなことを堂々と話していた。ある日のことだった、彰子の通う学校に栄太郎が現れて……

キャッチコピー

「このページを見たな！これで君たちとも縁ができた！縁ができたなら是非この劇を見てくれ！」

幕が上がる

公園

栄太郎が紙芝居を持っている

後ろで子供が遊んでいる

栄太郎

さあさあ、寄ってらっしゃいみてらっしゃい！これから始まるのは

ゴレンジャー！世界征服を目論む黒十字軍の野望を打ち砕くため、

アカレンジャー、アオレンジャー、キレンジャーにミドレンジャー

ー、モモレンジャーの5人は戦いが始まる！必殺技はゴレンジャー

ハリケーン！さあゴレンジャー、世界の平和は君たち手にかかって

いるぞ！……これがスーパー戦隊の元祖であるゴレンジャーだ、あ

の時の子供達はゴレンジャーごっこをして遊んでいたんだ

「この物語はフィクションであり、実際の人物、団体、事件名は一切関係ありません。」

彰子の夢

栄太郎、紙芝居を持ってはける

そこには彰子が一人

彰子　　いーれーて！

コロヌス3世とゾルダー達が現れる

「進め！ゴレンジャー」が流れる

石森一家がゴレンジャーのお面をかぶって

彰子　　アカレンジャー！

彰　　アオレンジャー！

栄二　　キレンジャー！

東子　　モモレンジャー！

栄太郎　　ミドレンジャー！

石森一家　　五人揃ってゴレンジャー！

コロヌス　　出たなゴレンジャー、私の名はコロヌス3世、世界を征服してやる

彰子　　そうはさせない

東子　　行くわよ、ゴレンジャーハリケーン！キレンジャー！（ボールを投げる）
（る）

栄二　　ミドレンジャー！（ボールを投げる）

栄太郎　アオレンジジャー！（ボールを投げる）

彰　アカレンジジャー！（ボールを投げる）

彰子　くらえー！（ボールを投げる）

コロヌス（当たって）ぐはー！

（爆発音）

暗転

「石森一家式ゴレンジジャーハリケーン」

夜、うっすらと「スーパーヒーローゲッター」が聞こえる

彰子、テーブルの上で絵日記を書きかけて寝ている

奥で栄二と東子が話している

栄二　父さんは見つかったか？

東子　ええ、また公園で紙芝居を

栄二　またか…

東子　そろそろ施設に

栄二　それはダメだ、父さんが嫌がる

東子　でもそれだとあなたが

栄二 俺はいいから

東子 ……最近、勝手に出かけること増えたじゃない、いちいち探してたらこっちの体がもたない

栄二 じゃあこれから俺一人で探すから、東子は休んで（立ちくらみを起す）

東子 ちょっと休んだら？

栄二 いや、大丈夫

東子 ……ひどい隈、倒れないでよ？まだ彰子小学生だしここで体壊したら

栄二 分かってる、寝るよ

東子 そう

栄二、はける

彰の歌声が聞こえる

東子 ……彰！

彰 （声だけ）なにー？

東子 近所迷惑なるから音量おとしてよ

彰 えー

東子 いい歳してまだ戦隊観てるの、恥ずかしくないの？

彰 良いだろ別にー

東子 受験生の自覚持ってるの？

彰 まあ……うんアルヨアルヨー

東子 気持ちがかもってない！

彰 あーはいはい、静かにするから

東子 ねえ本当に分かってるの？あなたこれから一人で考えないといけな
いのよ？後悔しても遅いんだから、早めに気持ちを入れて勉強を

彰 母さん……近所迷惑だよ？

東子 誰のせいよ

彰 分かったから、母さんも寝たら？

東子 もう……

東子、はける

彰子、絵日記を読み出す

彰子 2019年9月9日 月曜日、私は夢を見た。みんなが楽しそうに戦
隊ごっこしている夢、私はその子達に向かって「いーれーて」と言

った、するとみんな「いいよ」と言ってくれた・・・お父さんはよく子供の頃の話をしてくれる、きっとお父さんもこんな感じの経験をしてたのだと思った

石森一家の朝食

東子 彰子、朝ご飯よ

彰子 はい

東子 彰も早く起きて

彰 んー・・・あー・・・うん

栄太郎 東子さん、メガネどこに行ったかわかるか

東子 頭の上についてますよ

栄太郎 ああそうか・・・栄二ー朝だぞー

東子 おじいちゃん・・・

栄太郎 分かってる、彰子、栄二にライダーキックだ！

彰子 ライダーキック！！！！

栄二 (グギイ) (断末魔)

彰 何にも分かってないじゃん

栄太郎 なんと？東子さん、ちゃんと言わなきゃわからないぞ

東子 はいはい…

彰子 起きたよー

栄二 （ノソノソと）腰が…

東子 彰子、お父さんに謝りなさい

彰子 お父さん、ごめんなさい

栄二 ああ大丈夫…

石森一家 いただきます

彰子 お兄ちゃん、昨日何見てたの？

彰 「ゴーカイジャー」

彰子 いいなー一緒に見たい

彰 後で見せるから、子供は早く寝てな

（同時に）

東子 ☆受験生なら勉強しなさい

彰 いいじゃん、息抜きだよ

東子 2時間は観てたでしょ

彰 そんな見てたっけ？

東子 もう…

(同時に)

栄二 ☆東子、ソーセージどうだ？

彰子 あ、食べたい！

栄太郎 俺のも食べるか？

彰子 ありがとう！

(ここから合流)

東子 お父さんもなんか言っつてよ

栄二 (聞いてなくて) え？

東子 彰に

栄二 ……「ライブマン」貸すか？

彰 「剣(ブレイド)」見終わるまで待つて

東子 なんの話よそれ

栄太郎 彰、「秘密戦隊ゴレンジャー」を見ろ

彰 それ先週観たから

東子 いつ勉強してるの…

彰 気が向いたら？

東子 それじゃダメなの！

(沈黙)

東子 そんな子どもみたいなモノ見るのは早くやめて

栄太郎 東子さん

東子 ……なんですか？

栄太郎 みんなの好きなものを否定するな

東子 ……ああもう

朝食を片付ける

彰子 (絵日記を読み出す) こんな感じで朝ご飯を食べ終わると私は小学

校に登校する。最近学校ではHIKAKINが流行っている。

小学校

彰子 おはよー！

ゾルダー ブンブンハローYouTube

ゾルダー ブンブンハローYouTube

彰子 は？

ゾルダー HIKAKIN知らないのかよ

ゾルダー ダッセー

彰子 うるさい、確かに面白いかもしれないけどリュウソウジャーとかも

面白いから

ゾルダー は？ダッセー、今どき戦隊モノ見てんの？しかも女

ゾルダー 女の子は女の子らしくプリキュアでも見てな

彰子 はあ？

彰子とゾルダー達、言い争いをしながらはける

公園

栄太郎、紙芝居を持って徘徊中

カラスの鳴き声が聞こえる

栄太郎、夕日を背に紙芝居を始める

栄太郎 むかしむかし、ちょっと昔、石森栄二という男の子がいた彼は優し

いお母さんとお父さんの間ですくすくと成長していった、ただ、彼

は引っ込み思案でなかなか友達ができなかった、栄二はお父さんに

どうしたら友達ができるか聞いてみた、するとお父さんはブラウン

管のテレビを指差して「これを見ろと言った」、そこには「秘密戦

隊「ゴレンジャー」が放送されていた、栄二はそれを夢中になって見ていた、その頃栄二が通っていた幼稚園ではゴレンジャーごっこが流行っていた、みんなが楽しそうに遊んでいるのを遠くから眺めているだけの栄二にお母さんは言いました

アキコ 行ってきなさい

栄太郎、いつの間にかいるアキコ存在に気づいて動きが止まる

栄太郎 アキコ？アキコなのか？

アキコ みんなは元気？

栄太郎 ……元気だよ、それにもしものことがあったら俺がどーんと守ってやるからさ、あの時みたいに

アキコ ……

栄太郎 アキコ？泣いてるのか？何があった？

コロヌス3世、登場

奥から彰登場

コロヌス 我はコロヌス3世、殺人ウイルスをばら撒きに来た！

栄太郎 なに！そうはさせん！家族は俺が守る！

彰 おじいちゃん何してるの？

彰子 なんか私のことアキコって呼んでた

彰 あーおばあちゃんか

コロヌス なんだ老いぼれ風情が、お前に何ができる？

栄太郎 馬鹿にしちやいかんよ、俺だってまだまだ現役、行くぞ！

彰と彰子、「おじいちゃん」と呼びかける

栄太郎、その呼びかけに気づかずにコロヌス3世と戦いながらはける

ゾルダー登場

ゾルダー おいおい見ろよ、紙芝居ジジイがまた暴れてるぞ

ゾルダー うわー、近寄らない方がいいな

彰子 (気づいて) うるせー！おじいちゃんをバカにするな！

ゾルダー お前のかよ、だからおかしいんじゃないのかーバカ

彰子 バカって言った方がバカなんだよバカ

(沈黙)

彰子とゾルダー達、「バカバカバカバカ……」と言い争う

彰 落ち着け！いいか？争いは同レベルでしか起きないんだぞ

ゾルダー うわー彰子同レベルは嫌だなー

ゾルダー 今どき戦隊モノ見てるガキと一緒に嫌だねー

彰 (イラッ) あーもう良い子はもう帰る時間だから、さっさと帰って

宿題やって飯食って寝てろバカ！

ゾルダー、はける

彰子 お兄ちゃんも同レベルだね

彰 うるさい！

栄太郎、一人で特撮モノの必殺技を連呼して戦いながらながら登場

栄太郎 とどめた！ゴレンジャーハリケーン！

彰子 すごいよ、みんな見てる

栄太郎 これに懲りたらもう家族に手出しするな

彰 おじいちゃん

栄太郎 …彰か

彰 みんな見てるよ

栄太郎 …

彰 どういうことかわかるよね

栄太郎 ああ…彰子、こっちに来い

彰子 うん

栄太郎 せーのっピース

彰子 イエーイ

彰 そういうことじゃないんだって、帰るよ！

石森一家の家

彰子 (絵日記を取り出す) そんな感じで家に帰ったら、お母さんに「宿

題やって」と言われた。仕方ないので宿題をお兄ちゃんと一緒にした。

東子 おじいちゃん、勝手に出かけないでっていつも言ってるでしょ？

栄太郎　そこにコロヌス3世という奴がいたから

東子　彰、そんなのいたの？

彰　・・・いなかった

東子　ほら

栄太郎　いたよな？

彰　いや、いなかったよ、じいちゃんボケてきてるんじゃない？

栄太郎　いや俺は

東子　おじいちゃん、お願い、家でじっとしてて

栄太郎　なんでだ？

東子　本当にお願

栄太郎　俺はずっと家族を守りたくて動いてるつもりだ

東子　・・・なら、なおさらです

彰子　お母さんは泣きそうな顔をしていた。どうしてなのか私にはわからなかった。

東子と栄太郎、はける

彰と彰子は宿題をしている

彰子 あのさ

彰 なんだよ

彰子 後で借りてもいい？DVD

彰 モノによる、今見てるやつはダメ、お前ネタバレするし

彰子 いいじゃん別に

彰 いいか？俺は純粹に作品を楽しみたいんだ、だからネットのネタバレは見ないしパッケージの裏は見ないようにしてる、特撮はどういう展開になるかドキドキしながら見るもんだからネタバレはNGなんだよ

彰子 おおー

彰 分かったか？

彰子 分かった分かった、でもなんでその熱量を学校でも出せないの？

彰 それは…聞くな

彰子 私もこれくらいできればアイツらにバカにされないのかな

彰 無理だな

彰子 なんで？

彰 そういう奴は偏見の塊で、基本的にオタクをバカにするから

彰子 例えば？

彰 お前の仮面ライダー見ようとしなるところ

彰 だって仮面ライダーは喧嘩ばかりじゃん味方同士で

彰 それ、スーパー戦隊にも同じような作品あるぞ

彰 しかも味方よく死ぬし

彰 それも同じ

彰 やっぱスーパー戦隊の方が協力って感じがしていいよねー

彰 仮面ライダーも利害の一致で協力するから

栄二 (声のみ) ただいま

彰 ☆おかえり

彰 ☆おかえり、早かったね

栄二 (登場) まあ色々あって早く帰れた、何してた

彰 休憩

彰 偏見について話してた

栄二 なんか難しいこと話してるな

彰 仮面ライダーってなんか喧嘩ばかりだよねーって

彰 いやだからスーパー戦隊でもあるから

栄二 「ジェットマン」とか戦うトレンディドラマって呼ばれてたな

彰 トレ……え？

彰 ヒロインをめぐって二人の男が争う話

彰子 え

栄二 それでラストはレッドのライバルだったブラックが逆上したひったくり犯に刺されて死ぬんだよな

彰子 ……はい？

彰 父さん、まだ彰子観てない

栄二 あ

彰子 ネタバレってなんか、アレだね…

栄二 すまん

彰 ……ま、つまりネタバレは良くないってことで

栄二 そんな話だったか？

彰 結構どうでもいい話だったし

彰子 でもそれでもスーパー戦隊の方がチームって感じで好き

栄二 確かによりアピールしてるのは戦隊の方だな

彰子 そうだよね！

栄二 初期の特撮とかは仮面ライダーは孤高なヒーローって感じだけど、ゴレンジャーは5人の力を一つにして戦うヒーローという感じで対比されてたからな

彰子　だよねだよ

彰　あーだからおじいちゃんゴレンジャー勧めてるのか

栄二　あと、俺との思い出ってのもあるかなあ

彰と彰子、話が長くなりそうなのを察して宿題に戻る

栄二　俺が小さいときは友達を作るのが苦手で父さんにゴレンジャー見ること勧められて、それで夢中になってな、それもあって友達もできるとなると、一緒にゴレンジャーごっこもできるよになって・・・聞いている？

彰子　その話飽きるくらい聞いた

彰　今はそういう話が当てはまらない

栄二　あー、最近の子達は個性豊かだから

彰　ただ流行りに乗っかかりたい奴らが多いだけ、むしろ無個性の集まり

彰子　それだけなら話通じないだけでいいよ

彰　なんかバカにしてくる奴らが一番腹立つ

栄太郎、しれっと入ってくる

彰子 そうそうそれで自分の好きなものを上にしたいただけでオワコン

とか子どもっぽいとか

彰 そういう奴こそ流行りに乗っかってるだけだよな、そして流行らな

くなったら、次の流行り物に移る、なんなら好きだった物をバカにするんだろ

彰子 あいつらもきつとそうだよ、だいたいユーチューバーの何が面白い

んだよ商品紹介してる動画とか流行りに乗った動画とか何が面白いんだよ、お兄ちゃんもない？

彰 あるある、ドラマの話とかついていけない、すぐ流行りが変わる

し、やるんだったら一年やれよ特撮見習えよ、あとアニメオタクと一緒にすんな、あそこまでキモオタに媚びてないし、内容もこっちの方が深いし

彰子 だよねだよね

栄太郎 彰、彰子

彰 ☆ん？

彰子 ☆どうしたの？

栄太郎 そういうことはしちゃダメだ、他人の好きを否定するな

彰子 いやいや、あいつらとは違うよ

栄太郎 今はその子達と一緒に思えるぞ

彰子 そうかな…

栄二 まあ、周りを否定するとひとりぼっちになっていくからな

彰子 でもお父さん、あいつら私より友達いるよ

彰子 …結局周りに合わせて流行りに乗っかれる奴が一番馴染めるんだよ

栄二 うーん

栄太郎 そういう話じゃない、単純に人としてどうかって話だ、好きなものの悪口言ってる人と好きなものに肯定する人、どっちが信頼できるかわかる

彰子 それは…うん

彰子 …

東子、入ってくるスマホを持つてる

東子 宿題は？

彰子 …やってるやってる

東子 やってないでしょ

彰 やってるから

東子 話し声してたけど

彰 (ため息)

東子 あのね、あなたの為に言ってるの

彰 わかってる

東子 分かかってないから言ってるの

彰 わかってるから！

東子 だったらくだらないもの見ないで

彰 今それ関係ないよね、くだらないってなんだよ

彰子 ちょっと落ち着いて

栄二 そうだぞ、少し落ち着け

栄太郎 東子さん、くだらないは良くない

東子 ☆うるさい！

彰 ☆うるせえ！

(沈黙)

東子 とにかくやって

彰 分かってる

東子 彰子も

彰子 はい

栄太郎 東子さん、さっきの発言は良くないぞ

東子 「好きなものを否定するな」でしょ、分かっていますよ嫌というほど

聞きましたよ

栄太郎 なら

東子 いいから今は二人の邪魔しないでください

栄二 ……東子、ちょっと話をしよう

栄二、東子と一緒に部屋から出る

スマホが部屋に落ちてある

栄太郎、それを拾って見ている

(同時に)

栄二 ☆落ち着けて

東子 あなたも優しすぎ、彰は受験生なの、部活も終わってやることは勉

強なの、もっと厳しくいかないと

栄二 いやそうだが……だからって父さんにまで当たらなくても

東子
あの人とは話が通じないの！ボケてきてるんじゃない？似たような話ばかりするし、何回か事故起こしかけたのに一向に免許返納しないし、徘徊するし

栄二
…父さんはボケてないから

東子
あなたそればかり、認めたくないだけじゃないの

栄二
違う

東子
…この中に私の考え理解できる人はいないのね

栄二
なんでそうなるんだよ…

東子
私はあの子達の為を思ってやってるの、私みたいな苦勞をしないように
うに

栄二
俺は君の親を見たことないし、話も聞いてない、何があったんだ？

東子
…

彰
あーもうくそ！

彰子
…

彰
もうわかんねーよマジで、行きたい大学もねーし、進路も思いつかないし、目標ないし、今で手一杯で何すりゃいいかわかんねーよ

彰子
お兄ちゃん

彰 だいたい話し合う奴いないから困ってんだよ高一からずっと、周り

の話題についていけないし、3年なって菅田将暉の話題が出てきて

「なんだろう仮面ライダーダブルの話題かな」と思って話してたら

「3年A組」の話だし、周りについていくのに精一杯なんだよ

彰子 お兄ちゃん

彰 クラスのオタクどもとは話したくないし、必死にポジション探して

たら、次は受験モード入って大変だし

彰子 お兄ちゃん！

彰 なんだよ

彰子 こわいよ

彰 ……悪い、子どもだったわ

彰子 ……まだ子どもじゃないの？

彰 ……お前たまにキツイこと言うよな

栄太郎 (スマホを持って) 俺は邪魔なのか？

彰 ☆え？

彰子 ☆え？

栄太郎 邪魔なのか

世界が急に点滅して謎の世界

栄太郎が振り向くとコロヌス3世がいる

コロヌス はっはっはー我はコロヌス3世、世界中に殺人ウイルスをばら撒いてやる

栄太郎 またお前か

コロヌス またとはなんだ、邪魔者が

栄太郎 邪魔者ではない

コロヌス 何を言っている、お前は家族から邪魔者扱いされていることを自覚してないのか？

栄太郎 何を言っている

コロヌス 毎回のよう同じ話をする

栄太郎 教訓はいつだって忘れてはならないはずだ

コロヌス それに、深夜徘徊

栄太郎 子供達の為に紙芝居をやってるんだ

コロヌス さらに免許返納しない

栄太郎 車社会だから仕方ない

コロヌス 何度も事故を起こしかけてるのか？

栄太郎 あれは譲らないのがいけないんだ

コロヌス 歩行者優先って知ってるか？

栄太郎 何も邪魔になる要素なんかないじゃないか！

コロヌス ありまくりだ！

栄太郎 ……例えそうだとしても俺は家族を守るために動いている

コロヌス どうだか

栄太郎 これはアキコとの約束だ、破るはずがない

コロヌス ならば証明してみろ、いずれかお前たちに地獄を見せてやる

暗転

栄二、東子、彰、栄太郎を探しに客席中を動き回る

栄二 そっちいたか？

彰 いない

東子 あーもうどこ行ったの

栄二 やっぱり公園か

東子 また見に行くの？

栄二 もしかしたらいるかもしれないだろ、俺いくから二人は休んでて

東子 ……私も行く

彰 俺も

東子 あなたは勉強しなさいよ

彰 ……はいはい

彰、はける

彰子、絵日記を持って登場

彰子 10月5日土曜日、あいつらと決闘をすることになった。もう我慢
限界、絶対にわからせてやる。

公園

ゾルダー達がボールを持って待ち構えている

彰子 来たよ

ゾルダー よく来たな、それじゃあ勝負だ

ゾルダー このボールを当てられたら負けだ

彰子 分かったどっちか当てれば勝ちね

ゾルダー 何言ってるんだ？

ゾルダー どっちもだろ

彰子 は？

ゾルダー よーいスタート！

彰子 はあ！？

ゾルダー達、彰子に向かってボールを投げる

彰子、かわし続ける

栄二、東子、栄太郎を探している

彰子、追い詰められる

彰子 卑怯だぞ！

ゾルダー 何が卑怯だ、俺達に喧嘩を売ったお前が悪いんだろ

ゾルダー 戦隊モノなんて見てないで大人しくプリキュアでも見てるんだな

彰子 ……私がいっお前らの好きをバカした？

ゾルダー は？

彰子 私は何もバカにしてないし、否定もしてない、なのにお前らはいつ

も私の好きをバカにして……お前らの方が子供だろうが！

ゾルダー 戦隊モノ見てるガキに言われたくないな

ゾルダー 潔く負けを認めな！

栄太郎 そこまでだ！

ゾルダー ☆誰だお前は！

栄太郎、ド派手に登場

栄太郎 俺、参上！

ゾルダー 紙芝居ジジイかよ

ゾルダー 無視しよ無視

栄太郎 おい！黒十字軍！

ゾルダー は？

ゾルダー 俺達にも名前があるんだけど

栄太郎 そんなことはどうでもいいんだゾルダーども！早くコロナス3世を出すんだ！

ゾルダー ☆は？

栄太郎 ライダーキック！

ゾルダー ☆危ねえ！

ゾルダー おいやばいぞ

ゾルダー 逃げよう

栄太郎 待て！貴様らは逃さん！家族は俺が守る！

彰子 がんばれー！おじいちゃん

ゾルダー達逃げる

栄太郎、追う

栄二、東子、舞台に上がり

東子 彰子、おじいちゃん探すの手伝って

栄二 父さん見なかった？

彰子 え？ほらあそこ

ゾルダー達、逃げる

栄太郎、追う

東子 ☆…何やってるのよ！

栄二 ☆…何やってんだ！

栄二、東子、追う

彰、登場

彰子 あれ勉強は？

彰 別にいいんだよそんなこと……今の母さんに言うなよ？

彰子 分かった

ゾルダー 助けてくれ！

ゾルダー 頼む！

彰 おじいちゃんは？

彰子 すごかったよ

彰 何が

彰子 ライダーキックした

彰 は？

ゾルダー 聞いてんのか！

彰 ☆聞いてない

彰子 ☆聞いてない

ゾルダー 聞いてんじゃねーか！

栄太郎 蒸着、白線の内側まで下がってお待ちください

ゾルダー ☆うわー！（逃げる）

栄二 （栄太郎を押さえ込む） 父さん落ち着いて

栄太郎 オンドウルウラギッタンスカー！（跳ね除ける） 栄二！悪魔に魂

を売ったのか！（追う）

栄二 売ってない、売ってないから（追う）

彰、東子を見て逃げる

東子、ヘトヘトになってる

彰子 大丈夫？

東子 大丈夫じゃない

ゾルダー達は逃げ、それを栄太郎が追い、それを追う栄二がギツクリ腰を起こし倒れる

彰 父さん、大丈夫？

栄二 おい、彰、あの空を見ろ、あの空は俺達が守ってきた空だ（ガク

ッ）

彰 父さーん！

東子 なんの茶番してるのよ！

ゾルダー あのジジイ定年過ぎた奴の動きじゃねー！

ゾルダー まるでキチガイ高校生だ！

栄太郎 これで終わりだ！

ゾルダー もうしようがない

ゾルダー ここで勝負だ！

栄太郎 かかってこい！

東子 あなた達ちよっと楽しんでない？

彰子 がんばれー！

彰 うわ、沢山の人見てるよ

東子 （客席に向けて）ああすみません、本当にすみません、今止めます

んで

栄二 タバコない？

彰 ない

東子 あなた達！ちよっと手伝って！

彰　　ごめん他人のフリさせて

栄二　　ちよつと腰が

東子　　ああもう！

彰子　　がんばれー！

東子　　うるさい！

舞台上は混沌と化している

そこにコロヌス3世

コロヌス　はっはっはー、まさに混沌！この先どうやって収集つけたのか、そ

れは

(暗転)

コロヌス　尺の都合で割愛！（ちゃっちゃん）

夕方

5時を知らせるチャイムが鳴っている中栄太郎を除く石森一家で謝罪している
彰子のみなで謝っているか理解できていない

石森一家 申し訳ありません、申し訳ありません

彰子 ねえ、すごかったよねおじいちゃん

石森一家 申し訳ありません、申し訳ありません

彰子 今年80の動きじゃなかったよね

石森一家 申し訳ありません、申し訳ありません

彰子 ねえなんで謝ってるの？

東子 彰子も謝るの！（頭を下げさせる）

彰子 ごめんなさい（絵日記を読む）私は理解できない。なんで謝らなき

ゃいけないのか。謝るのはあいつらの方だ。なのになんで…

栄太郎、ベンチに座っている

彰子 おじいちゃんは少しだけ警察のお世話になった。周りからは「また

あの爺さんか」と言われていた。うるさい、みんなおじいちゃんの

すごさが分からないんだ。そうに決まってる。

夜

石森一家の食卓

栄太郎はいない

彰子　ねえ、おじいちゃんすごかったよねー

(沈黙)

彰子　ねえ

東子　うるさい

(沈黙)

東子　これ(栄二にスマホを見せる)

栄二　イーグル東…

東子　民間になるかもしれないけど、これだったらいいんじゃない、サー
ビス付き高齢者向け住宅で調べて、ここならおじいちゃんもいいと
思ってくれると思うけど

彰子　母さん、俺達にもはっきり言ってくれない

彰子　え、え

東子　おじいちゃんを老人ホームに入れようと思うの

栄二　でも父さんの意向を聞いてからじゃないと

東子　もう遅いの

栄二　どう納得させるんだ

東子 私がやる、あなたにやらせると終わらないから

栄二 待ってくれよ

東子 待たない、あれ見て何も思わないの？

栄二 ……

東子 お願い

栄二 ……

彰子 なんで？

東子 なんでって

彰子 なんでおじいちゃんと別れなきゃいけないの？

東子 ……あなたの為よ

彰子 ならどうして？おじいちゃんは私を守ってくれたんだよ

東子 その結果周りからどう言われてた？

彰子 でもあれはみんながおかしいだけで

東子 そんなこと言わない！

彰子 ……

栄太郎、部屋の前に立つ

東子 後で苦しくなるのは私達なの

彰子 そんなことない

東子 いずれ分ることになるからだから

彰子 やだ！

東子 これはあなたの為なの！

彰子 こんな私の為でもなんでもない！お母さんでしょ！お母さんの為
でしょ！

東子 そんなこと

彰子 うるさい！お母さんなんて大っ嫌い！

彰子、出ていく

東子 なんてなの…

栄二 東子

東子 分かってる…でもこうしなきゃいけないの

栄二 父さんとは俺が話つけてくるから

東子 でも

栄二 いつも嫌われ役やってもらってるのは悪いから

東子 ごめんなさい…

彰 （絵日記を読む）「お母さんは最低だ。おじいちゃんを遠ざけようとしてる。」彰子はしばらく母さんの口を聞かなくなりました。いつもだったら彰子の味方をするところでしたが、今回は母さんの考えに同感したのです。でも…もう何が正しいのか分からなくなつて…俺まで頭がおかしくなりそうです。

謎空間

栄太郎とコロヌス3世が対峙している

コロヌス よう、邪魔者

栄太郎 …

コロヌス 自分のせいで家族がバラバラになっていく気分はどうだ

栄太郎 …黙れ

コロヌス 何を言っても無駄だ、何をやっても、家族を守るどころか苦しませる、そんな奴にいる価値はないんだよ

栄太郎 黙れ！

栄太郎、コロヌス3世に襲い掛かるがかわされる。何度も攻撃しようとするが届かない。そしてとうとう地に伏してしまう。

コロヌス どうやらお前の負けのようだな、大人しく世界が終わっていく様を
見ているがいい

コロヌス3世、どこかに去る

栄太郎 くそっ家族は俺が守る

気づくとそこは病室、アキコが眠っている

心電図の音

栄太郎、アキコのそばに寄る

栄太郎 アキコ、大丈夫か？

アキコ ……

栄太郎 俺はどうすればいい

アキコ みんなは元気？

栄太郎 ……ああ

アキコ 東子さんのお腹は？

栄太郎 そろそろだろうな

アキコ 名前は何にするの？

栄太郎 なんだろうな、女の子の名前つけるのは初めてだからな

アキコ 可愛らしい名前をつけなね

栄太郎 どうした、まるで会えないみたいじゃないか

アキコ そろそろだから

栄太郎 ……言うな、せめて新しい子の顔だけでも、東子さんは見せたがつてたぞ

アキコ そう…でももういいの、これ以上はみんなの邪魔になる

栄太郎 邪魔じゃないだろ

アキコ あなたがそう思えるなら、まだ、あなたは大丈夫

栄太郎 どういうことかな？

アキコ ……お願い、その言葉を理解するまであの子達を守ってあげて

心電図が停止する

栄二が栄太郎を見つける

栄二
やっぱりここにいたんだ、父さん、覚えてるかな俺が初めて友達を
作れた時の話、あの時は二人とも喜んでたよね……あの時はゴレン
ジャーごっこでキレンジャーしかやらせてもらえなかったな、別に
楽しかったからいいけど……父さん、イーグル東って知ってる？あ
そこいい場所だし、サービスしっかりしてるから、だから……だか
ら

栄太郎
分かった（倒れる）

栄二
父さん！？

彰
（絵日記を読む）「おじいちゃんが倒れた。これはお母さんのせい
だ」これを境に絵日記は止まっている。おじいちゃんは無事だっ
た。病院を3日間だけ入院するだけで済んだ。ただ……彰子、今日
は？

彰子
……行かない

彰
おじいちゃん帰ってくるけど

彰子
……

彰
そろそろ、受け入れなよ、辛いのはみんな一緒

彰子
お兄ちゃんに何がわかるの

彰

…10月9日水曜日、今日も彰子は出ようとしな。子供意地み
たいなものだと最初は思ってたけど、彰子にとっておじいちゃんは

チャイム

夕方

高校の課外

さまざまな声や音が聞こえてくる

彰

授業が終わってすぐに課外が始まる。この時間が俺を一番苦しめ
る、目標が決まってないのにやる勉強ほど辛いものはない、俺はい
つも席の真ん中…つくづく誰かと話せたらいいなと思う

チャイム

彰

課外が終わり、さっさと家に帰る、するといつもより少し優しい母
さんがそこにいた

東子

おかえり

彰

ただいま、彰子は？

東子
…

彰
あー、おじいちゃんは？

東子
彰子の部屋だと思う

彰
分かった

東子
彰

彰
何？

東子
…

彰
あ、一通り話したら勉強するから

東子
そう

彰
あのさ、早く仲直りしていつものテンションに戻ってくれない？

東子
…

彰
おじいちゃんと話つけてさ

東子
…

彰
今日にでも話つけなよ

東子
…やってみる

彰、部屋に入ると栄太郎と彰子がいる

彰 おじいちゃん元気？

栄太郎 いやいや、随分とお騒がせしたな、この通り元気だ

彰 良かった

栄太郎 だが彰子、どうした彰子らしくないぞ

彰 あー父さんから何も聞いてない

栄太郎 栄二からは何も聞いてないな

彰 あの人は…いや俺から伝えるおじいちゃん

彰子 待って

彰 なんだよ

彰子 いや

彰 あのな、悲しいのはわかる、でも絶対に来るんだよ

彰子 いやだ

彰 お前が意地張っているとみんなに迷惑かかるんだぞ

栄太郎 彰、分かってる、覚悟はついた

彰 ☆え

彰子 ☆え

栄太郎 俺は家族を守るためにそうしようと思う

彰子 やだよおじいちゃん

栄太郎 ただ一つ心残りがある

彰 何？

栄太郎 彰子と東子さんが仲直りしてほしいんだ

彰子 わかった、じゃあずっと黙っていればおじいちゃんはずっと

栄太郎 それは良くない、東子さんはこの家族を大切に思ってるだから厳し

いことだって言うし、嫌われ者をやるんだ

彰子 お母さん……

栄太郎 それにおばあちゃんと東子さんは仲が良かった、覚えてるよな

彰 あー、確かによく話してたね

栄太郎 彰子が生まれる前におばあちゃんは……アキコは亡くなった、だか

ら、東子さんと仲良しの親子になって欲しいと思って俺は提案した

んだアキコという字を漢字にして読み方を変えて「彰子」と

彰子 ……うん

栄太郎 バラバラだとダメなんだ「ゴレンジャー」でもあつただろ？「5つ

の力を一つに合わせて」……バラバラじゃ大きな困難があつた時に

乗り越えられない

彰 そうだね

栄太郎 それに今生の別れじゃないんだ、また会える

彰子 ……本当に？

栄太郎 本当だ、困った時には助けに行く

彰子 ……分かったよ、仲直りする

栄太郎 よし

栄太郎と彰子、指切りをする

栄太郎 じゃあ東子さんのところに行ってくる、謝らないといけないしな

彰 そうだね

栄太郎 悪かったな、ダメなおじいちゃん

彰 いや、すごいよおじいちゃんは堂々と自分を出せて

栄太郎 彰、もっと自分を出していいんじゃないか、周りに遠慮するよりマシだろ？

彰 ……そんな単純な話じゃないけどね

栄太郎 分かってる、ただ相手に理解されれば、その先は楽しいぞ

彰 ……善処するよ

栄太郎 そうか

栄太郎、立ち去る

彰 これ（絵日記を返す）

彰子 え

彰 お前母さんの悪口書いてたろ、消しときなよ

彰子 （絵日記を消す）

彰 お前すごいな1年からずっと書いてたのか

彰子 お母さんと約束したから「一日一日を大切に記憶に残す」って

彰 そこに母さんの悪口ってだいぶ性格悪いぞ

彰子 ごめん

彰 いや俺に謝るなよ

彰子 ……どうすればいい

彰 は？謝ればいいんじゃない

彰子 どうやって

彰 どうやってって…素直に「酷いこと言ってごめんなさい」って言

うだけ、なんか問題ある？

彰子 いや、その、それが難しいの…お兄ちゃんもわかるでしょ？

彰 いや簡単だろ

彰子　ちゃんと謝ってるの見たことないけど？

彰　　：分かった、じゃあ台本書くからその通りにやれ

彰子　書けるの？

彰　　バカにしてんか？

彰子　ごめんなさい

彰　　ただ、フツーには書かないぞ

彰子　え、どゆこと？

彰　　じゃあ書ける紙を持ってこい！

彰子　え

彰　　はやく！

彰子、広告の裏紙など書ける紙を持ってくる

彰、そこに何か書いている

一方その頃

栄太郎と東子

栄太郎　東子さん

東子　　なんですか？

栄太郎 いままでお世話になりました

東子 聞いたんですね？

栄太郎 いや、申し訳ないんだが東子さんのスマホで

東子 ……いつですか？

栄太郎 彰と喧嘩した後だ

東子 どれかわからないですね

栄太郎 その時にスマホを置いていったんだ、パスワードは決めた方がいいぞ

東子 ……そうですね

栄太郎 彰子とは早く仲直りしてまた一緒に頑張ってくれ、「5つの力を一つに合わせて」だ

東子 ……はい

栄太郎 君にとって一番大切なものはなんだ？

東子 ……家族です、今ここにいられるのは家族があるから、だから感謝しています

栄太郎 ……いつか君の家族にも会ってみたいな

東子 会う必要ありません

栄太郎 どうしてだ？

東子 色々あって今は疎遠なんで

栄太郎 分かった、話を変えよう、好きなものはあるか？家族以外で

東子 ……

栄太郎 そうか……なら何か見つけなさい、そうすれば他の人の考えも理解できるようになる

東子 ……分かりました

栄太郎、立ち去る

東子が振り返るとアキコがいる

地味にカンペとドツキリの看板を持った彰がいる

アキコ 東子さん

東子 おばあちゃん？

アキコ 気負いすぎないで気楽にやっていけばいいの

東子 私、おばあちゃんみたいに器用じゃないから

アキコ ……おじいちゃんとはうまくやってるの？

東子 ……ごめんなさい、少し難しくくて

アキコ そう……（見えないからこっち来てのジェスチャー）

彰 (カンペとドッキリの看板を持って近づく)

アキコ いいの、気にしなくて、おじいちゃんも分かってくれでしょ

東子 ごめんなさい、本当に、私親が次々と変わって、その変化に合わせて

るので必死で……生きるのに必死で、今は幸せなのはこうやって家族でいれることに……だからあの子達には苦勞させたくない、私がどんなに嫌われてもいいから、幸せであって欲しいの

彰 母さん……

彰子 ダメ、そんなの

東子 おばあちゃん？

彰子 お母さん、ダメだよそんなの

東子 え

彰 (うなづく)

彰子 私達はみんな幸せじゃなきゃダメ！「5つの力を一つに合わせて」

私達はみんな一緒に幸せじゃなきゃいけないの！だから、だか

ら……ごめんなさい、あんなこと言って

東子 彰子、彰

彰 (看板を隠す)

東子 これは

彰 ドッキリ……彰子が謝るための

東子 あなたが？

彰 まあ……うん、そんなこといいからさ、早く仲直りして、こっちが

調子崩れるから、ほらもう一回

彰子 ごめんなさい

東子 いいの……ありがとう、彰

彰子 ありがとうね

彰 ああうん

彰子 どうしたの

東子 照れてるんじゃない

彰 うるさい

彰子 (絵日記を読む) こうやって私達は仲直りをした。おじいちゃんが
いなくなるのは悲しいけど、でもまた会えるから、そう信じている

夜

公園

栄太郎と栄二が歩いている

栄太郎、紙芝居を持っている

栄太郎 珍しいな、ついてくるなんて

栄二 まあ、最後だし

栄太郎 そうか

栄二 この公園もだいぶ変わったな

栄太郎 ここでいつも遊んでたよな

栄二 ここでゴレンジャーごっこしてた、キレンジャーばっかだったけど

栄太郎 「いやだ」って言えば良かったじゃないか

栄二 別に楽しかったからいいんだよ

栄太郎 こんな子供が今じゃ父親か……また未熟だけどな

栄二 一言余計だよ

栄太郎 悪い悪い、だが、大切なことを子供に言わせるのどうかと思うぞ

栄二 いやあれは……

栄太郎 今度はお前がアカレンジャーだからな

栄二 俺は違うよ、リーダーは向いてないから

栄太郎 だがこれから守るのはお前だぞ

栄二 ……できるかな

栄太郎 俺の子だから大丈夫だ

栄二 ……

栄太郎

さあさあ、寄ってらっしゃいみてらっしゃい！これから始まるのは

ゴレンジャー！世界征服を目論む黒十字軍の野望を打ち砕くため、

アカレンジャー、アオレンジャー、キレンジャーにミドレンジャー

ー、モモレンジャーの5人は戦いが始まる！必殺技はゴレンジャー

ハリケーン！さあゴレンジャー、世界の平和は君たち手にかかって

いるぞ！

栄太郎、振り向く

ここはイーグル東の前

石森一家が揃っている

栄太郎

いままでお世話になりました

彰子、絵日記を読む

彰、紙芝居をめくる、そこには戦後日本の社会、家族の写真が

栄太郎、ゆっくり歩き出す

彰子 10月27日日曜日、今日はおじいちゃんとの別れの日、皆寂しそ

うだった

彰 その中でも父さんは家を出てから一切話さなかった

彰子 私達は別れの悲しみを堪えて「さよなら」と言った

彰 母さんは無理に笑顔になっていたが、拳に力が入っていた

ゾルダー達が捲られてた紙をビリビリ破き高く舞いあげる

栄二 (紙芝居をめくっていく) 石森栄太郎、1939年に生まれ、幼い

頃に戦争、敗戦を経験した。そして彼が25歳の時に小野寺アキコ

と出会い結婚、31歳のときに俺が生まれた。俺は引っ込み思案で

人見知り、友達を作ることができなかった。だが二人のおかげで孤

独じゃなくなった！その後、日本の成長と衰退を経験しながら、汗

水流して働き家族を養っていった！そして俺は東子と結婚しその間

で彰が生まれる！これから平穏な日々が続くと思っていた矢先にア

キコ、逝去、奇しくもその一週間後に女の子が生まれる。その時、

栄太郎は名づけた、「彰子」と！そして今これから俺は守ってい

なければならない、父さんが守ってきた家族を俺は守っていがなければならぬ……（見上げる）

彰子 雪だ、初雪だ

彰 この雪は新しい生活を祝福しているのか、これから大変なことが起こることへの予兆なのか

栄二 （栄太郎を追う）

東子 ☆あなた！

彰 ☆父さん！

彰子 ☆父さん！

栄二 父さん！俺頑張るから！いままで父さんが守ってきた家族を今度は俺が

栄太郎 栄二！一人で気負うな、みんなで頑張れ

栄二 父さん

栄太郎、栄二、抱き合う

3年後

彰子 (絵日記を読む) あれから3年の月日が経ちました。兄さんは無事

大学に合格し、私もそろそろ小学校を卒業します。コロナで大変な世の中になり、おじいちゃんに会えない日々が続いています。それでも私達は協力して毎日を過ごしています。でもできれば(眠る)

東子 (電話) もしもし彰、ご飯食べてる？勉強してる？友達できてる？

彰 (電話) 大丈夫だよ母さん、こっちは、最近アニメもいくなって特撮の話ができる友達から勧められてなんかいいなって思ってるところだよ

東子 そう、なら良かった…私ね、最近特撮見てるの

彰 面白い？

東子 そうね、面白いわ

彰 でしょ、もっと楽しんでよ、じゃあこれから寝るから

東子 分かったわ(電話切る)彰子は寝たの？

栄二 ああ、絵日記書きかけで寝てる、まだ書いてたんだな

東子 流石ね

栄二 ああ、父さんに会いたがってたよ…もしかしたら、この事態になるのを予測して父さんはあんなに簡単に

東子 あなたらしくないわね、そんなこと言うなんて

栄二 そうだな、父さんに悪いか

東子 ……「ヒーローがみんなを元気にする」ってあったじゃない

栄二 ああ、ニュースにもなってたな、特撮ヒーローの中の人達が子供達を励まそうした

東子 それを見てね、ちょっと興味持ったの

栄二 あ、だから、おすすめ聞いてきたのか、どうだった？

東子 ストーリーがしっかりしていて大人でも楽しめる内容だった…彰に悪いことしちゃったかな

栄二 別に気にしてないと思うぞ、今のあいつは楽しそうだし

東子 そう、あなたは幸せ？

栄二 そういうお前は？

東子 幸せよ

栄二 俺もだ、ただ少し寂しいけどな

東子 確かに静かになったから

栄二 最近規制緩くなってきたし、少しでいいから会ってみようか

東子 いいわね

彰子 ん？父さん？母さん？

警報音

謎空間

コロヌス3世とゾルダー達が現れる

コロヌス はっはっはー、我はコロヌス3世、コロナウイルスをばら撒きにき

た！

彰子 は？

東子 ちよつとなにこれ

コロヌス 貴様らを感染させて社会的に抹殺してやる

栄太郎 そこまでだ！

彰子 おじいちゃん！

コロヌス なんだ老いぼれか、また負けに来たのか

彰 それはどうかな

彰子 兄さん！

栄太郎 今回は俺一人じゃないぞ

栄二 分かったよ父さん、俺も戦う

東子 そうね、家族みんな戦いましょう、ね、彰子

彰子 うん！

コロヌス な、なんだお前らは

栄太郎 よし石森一家最終奥義

石森一家 「石森一家式ゴレンジャーハリケーン コロナワクチン」！

「進め！ゴレンジャー」が流れる

東子 （ボールを持つ）明日は希望の花が咲く！（栄二に投げる）

栄二 困難な壁も支え合えば乗り越えられる！（栄太郎に投げる）

栄太郎 その意志は親から子、子から孫へ受け継がれる！（彰に投げる）

彰 俺達は希望に向かって走り続ける！（彰子に投げる）

彰子 それが私達の力だ！

彰子、巨大注射を持って突っ込み、コロヌス3世を貫く

コロヌス ぐはー！なんだこの力は、お前達は何者だ

東子 石森東子！

栄二 石森栄二！

栄太郎 石森栄太郎！

彰
石森彰！

彰子
石森彰子！私達は！

石森一家
石森一家だ！

これから辛いことがあるだろう、しかしこの家族ならきつと乗り越えられる、
そんな希望を残しつつ、「続く」の文字

幕